

〇3月31日(日)開催 第3059回例会
兵庫県山岳連盟同調/自然保護委員会企画
「陽春の播磨富士(高御位山)を訪ねる」を
無事終えて

報告：普及委員会・吉野 宏

兵岳連/自然保護委員会が企画した平成30年度最後の行事「播磨の名山・高御位山を訪ねる」は、麗らかな日差しに恵まれた3月31日(日)、岳連播磨支部の役員を含む有志の皆さんの手厚いサポートによって無事終了することが出来ました。当日は神戸支部から43名、播磨支部から16名、合計59名もの参加を得て行われました。神戸からの参加者はJR曾根駅9時30分に集合。そこから播磨の皆さんが待つ鹿嶋神社へは約30分、のどかな田園風景の中を歩きます。・・・



チタン製の大鳥居(鹿嶋神社案内HPより)

平成10年に出来たというチタンの大鳥居前の駐車場で軽いストレッチを行い、登山スタート。登山口は本殿の左横からなのでまずは一願成就の神に安全登山の祈願を致しました。(皆さんは何を成就願ったのでしょうか?)・・・



鹿嶋神社本殿

10分余りで展望台に着き一息入れた後、百間岩の登りにかかります。なにぶんにも多人数のこと、他の登山者に迷惑がられていないかと気をもみ

ながらの岩場歩行でしたが、登るにつれ展望が開けて来ると、気分爽快、この山の魅力にすぐ溶け込むことが出来ました。



展望台手前から見た百間岩

稜線へ出ると高御位山頂を望みながら、鷹ノ巣山西峰から東峰へのアップダウン散歩の始まりです。



高御位山頂を望みながら稜線散歩へ

しかし、8年程前?に起こった大規模な山火事の痕跡は未だ残っており、鮮やかなピンク色のコバノミツバツツジが唯一この山を明るく楽しませてくれているのは大変有難いことでした。・・・



心が和む明るい色のコバノミツバツツジ

又、視界を遮るものがないので眼下の播磨平野や淡路島、明石海峡のパノラマを楽しみながらの尾根歩きは、「標高が僅か 304 メートルしかない低山・・・」とは侮れない魅力に溢れた播磨アルプスの主稜線であるのは間違いないでしょう。



意外とシンドイ！・・・アップダウン！

桶井山への分岐を過ぎ、なだらかながらも数度の上り下りを繰り返し正午過ぎ山頂に到着。

参加者が多いので少し窮屈に感じるも、おもしろいおもしろい昼食を楽しむことが出来た・・・

下山は長尾の阿弥陀新池へ下り、車道を鹿嶋神社へ向かって歩きました・・・

さて平成 21 年より 10 年間に渡って自然保護委員会と普及委員会は、互いの企画行事に対し、協働・協労で運営してきましたが、新年度からは新たに普及委員会として独自企画で運営していきますので、今までと同様に、又多くの皆様にご参加頂きます様お願い申し上げます。



高御位山頂にて